

人事異動

1. 新任

研究部長 矢野 実 (4月1日付け)
特別研究員 中山忠彦 (4月1日付け)
特別研究員 和田好充 (3月1日付け)

2. 退任

研究部次長 中谷 隆 (2月28日付け)
研究部長 高田 穰 (3月31日付け)
特別研究員 久保義矩 (3月31日付け)



研究会・研修会等への 報告者・講師の派遣

(平成十六年十月)

平成十七年三月

○北海道都市問題会議

主催 北海道都市学会
とき 平成16年10月4日
テーマ 食と農のあるまちづく
り

講演 太田原高昭

(当研究所・所長)

○北海道園芸研究会総会

主催 北海道園芸研究会
とき 平成16年10月12日
テーマ 北海道の園芸とスロ
ード

講演 太田原高昭

○J A企画部門担当者研修会

主催 J Aカレッジ
とき 平成16年10月25日
テーマ 地域農業振興の視点と
戦略

講演 太田原高昭

(当研究所・所長)

○北見地区管内青年就農者研修会

主催 網走支庁・北見地区農
業改良普及センター
とき 平成16年11月5日
テーマ 描いた夢はかなえよう
く青年農業者に期待す
る

講演 黒澤不二男

(当研究所・常務理事)

○堆肥センター運営シンポジウム

主催 北海道農協「土づくり」
推進本部・北海道地域
農業研究所

とき 平成16年11月8日

テーマ 堆肥センターの運営のあり方

とき 平成16年11月13日

とき 平成16年11月29日

展開方向

コーディネーター 黒澤不二男

テーマ これからの水田農業と先進取り組み事例

テーマ 稲作地域における農業活性化の取り組み

講演 黒澤不二男
(当研究所・常務理事)

(当研究所・常務理事)

講演 黒澤不二男

講演 黒澤不二男

○まちとむらのおかみさん交流大会

○IBM環境シンポジウム2004

04

○道立農業大学校公開講座

○ニューリーダー育成研修

主 催 道農政部

主 催 日本アイ・ビー・エム株式会社

主 催 道立農業大学校

主 催 北海道立農業大学校

とき 平成17年1月24日

とき 平成16年11月9日

とき 平成16年11月16日

とき 平成16年12月8日

テーマ 交流の到達点と今後の方向

テーマ 北海道における青果物のトレーサビリティ確保に向けた取り組みと課題

講演 黒澤不二男
(当研究所・常務理事)

講演 奈良孝一
(当研究所・研究部次長)

コーディネーター 黒澤不二男
(当研究所・常務理事)

(当研究所・専任研究員)

(当研究所・常務理事)

(当研究所・研究部次長)

(当研究所・常務理事)

講演 酒井徹

○芦別市経営改善研修会Ⅰ

○北海道農業普及学会大会

○北海道農業機械協会新年互礼会

(当研究所・専任研究員)

主 催 芦別市経営改善支援センター

主 催 北海道農業普及学会

主 催 北海道農業機械協会

○生協組合員全道交流集会

とき 平成16年11月26日

とき 平成17年1月17日

とき 平成17年1月26日

主 催 生協道連合会

テーマ 高齢化の進行に対応した集落営農システム

テーマ 地域・農業者の個性を生かした北海道農業の展開と普及の役割

講演 太田原高昭
(当研究所・所長)

とき 平成16年11月11日

講演 黒澤不二男
(当研究所・常務理事)

講演 太田原高昭
(当研究所・所長)

主 催 北海道土地連研修会

テーマ 食の安全と農業の現状

講演 黒澤不二男

講演 太田原高昭
(当研究所・所長)

主 催 北海道土地改良事業団体連合会

講演 太田原高昭
(当研究所・所長)

(当研究所・常務理事)

○栗沢町統計調査員研修会

主 催 北海道土地改良事業団体連合会

○美幌市農業委員会研修会

主 催 栗沢町

とき 平成17年1月31日

○長沼農民塾

主 催 美幌市・美幌市農業委員会

とき 平成17年1月18日

テーマ 挑戦する農業者・地域に学ぶ活性化戦略

主 催 JANAながめま

員会

テーマ これからの水田農業の

講演 黒澤不二男
(当研究所・常務理事)

○芦別市経営改善研修会Ⅱ
主催 芦別経営改善支援セン
ター

とき 平成17年2月10日
テーマ 高齢化の進行に対応し
た集落営農システム

講演 黒澤不二男
(当研究所・常務理事)

○帯広市認定農業者研修会
主催 帯広市経営改善支援セ
ンター

とき 平成17年2月16日
テーマ 「基本計画」見直しと認
定農業者に求められる

もの
講演 黒澤不二男
(当研究所・常務理事)

○農民同盟青年部研修会

主催 斜里町農民同盟
とき 平成17年2月21日
テーマ 真の農業とは何か

講演 太田原高昭
(当研究所・所長)

○地域農業技術センター連絡協議
会総会研修会

主催 地域農業技術センター
連絡協議会
とき 平成17年2月22日

テーマ 「基本計画」見直しと地
域農業技術センターの
役割
講演 黒澤不二男
(当研究所・常務理事)

○ニューリーダー養成研修
主催 北海道立農業大学校

とき 平成17年2月22日
テーマ 経営計画の必要性
講演 奈良孝一
(当研究所・研究部次長)

○胆振管内新規就農者交流研修会

主催 胆振支庁・胆振西部地
区農業改良普及セン
ター
とき 平成17年2月23日

テーマ 担い手育成と新規就農
者の定着条件を探る
講演 黒澤不二男
(当研究所・常務理事)

○釧路支庁セミナー
主催 釧路支庁

とき 平成17年3月3日
テーマ 酪農支援システムの課
題と今後の展望
講演 黒澤不二男
(当研究所・常務理事)

○空知南西部地区指導農業者・農
業士会総会研修会

主催 空知南西部地区指導農
業士・農業士会、空知
南西部地区農業改良普
及センター
とき 平成17年3月4日

テーマ 「基本計画」見直しと地
域リーダー農業者の役
割
講演 黒澤不二男
(当研究所・常務理事)

○中山間地直接支払いの制度集落
研修会

主催 秩父別町
とき 平成17年3月4日
テーマ 「新基本計画」とこれか
らの地域農業の方向
講演 黒澤不二男
(当研究所・常務理事)

○北海道普及職員協議会研修会
主催 北海道普及職員協議会

とき 平成17年3月7日
テーマ 新「基本計画」下の普
及活動のあり方
講演 黒澤不二男
(当研究所・常務理事)

○後志支庁セミナー
主催 後志支庁

とき 平成17年3月8日
テーマ 援農システムの構築と
課題
講演 黒澤不二男
(当研究所・常務理事)

○根室支庁セミナー

講演 黒澤不二男
(当研究所・常務理事)

主催 根室支庁

とき 平成17年3月10日

テーマ 地域を変える発想とエネルギーを掘り起こそう

講演 黒澤不二男

(当研究所・常務理事)

○食と農を考える集い

主催 食と農を考える実行委員会

員会

とき 平成17年3月12日

テーマ 北の大地から安全・安心な食料を

講演 太田原高昭

(当研究所・所長)

○家の光文化賞JA懇談会

主催 岩手県JA中央会

とき 平成17年3月14日

テーマ 家の光文化賞受賞JAに期待する

講演 太田原高昭

(当研究所・所長)

○北海道有機農業研究会設立20

周年記念大会

主催 北海道有機農業研究会

とき 平成17年3月17日

テーマ 北海道における持続的農業の展開と役割

講演 太田原高昭

(当研究所・所長)

○平成16年度北海道有機農業技術交換大会

主催 北海道有機農業研究協議会

議

とき 平成17年3月17日

テーマ 農産物における情報整備の意義と課題ートレーサビリティと生産情報公表JAS規格を中心としてー

講演 酒井徹

(当研究所・専任研究員)

○生協組合員交流会

主催 コープさっぽろ

とき 平成17年3月22日

テーマ 食の安全と生協の役割

講演 太田原高昭

講演 太田原高昭

(当研究所・所長)

支援システムの現状と今後の展望について

講演 井上誠司

(当研究所・専任研究員)

○厚真町認定農業者研修会

主催 厚真町経営改善支援センター

とき 平成17年3月25日

テーマ 新「基本計画」下における地域農業の展開

講演 黒澤不二男

(当研究所・常務理事)

○旭川農村婦人大学修了式

主催 旭川市農政部

とき 平成17年3月28日

テーマ 農村における女性活動とスローフード運動

講演 太田原高昭

(当研究所・所長)

○新しい農業支援システムシンポジウム

主催

根室支庁農業振興部、根室支庁管内各地区農業改良普及センター

とき 平成17年3月30日

テーマ 酪農地帯における農業



DATA FILE

関連事項/ DATA

北海道留萌支庁

〒 077-8585

留萌市住之江町 2 丁目 1 番地 2

☎ 0164(42)1511

北海道農協青年部協議会

〒 060-0004

札幌市中央区北 4 条西 1 丁目 1 番地
北農ビル

☎ 011(232)6417

FAX 011(222)3598

北海道農民連盟

〒 060-0034

札幌市中央区北 4 条東 2 丁目
シャルム北 4 条

☎ 011(241)5416

FAX 011(241)5979

北海道武蔵女子短期大学

〒 001-0022

札幌市北区北 22 条西 14 丁目

☎ 011(726)3141

FAX 011(726)3144

斜里町役場

〒 099-4192

斜里郡斜里町本町 12 番地

☎ 01522(3)3131

FAX 01522(3)4150

斜里町農業協同組合

〒 099-4195

斜里郡斜里町本町 36 番地 1

☎ 01522(3)3156 (代)

FAX 01522(3)2274

(社)北海道地域農業研究所

〒 060-0004

札幌市中央区北 4 条西 7 丁目 1

☎ 011(281)2566

E-mail : kaihou@chiikinouken.or.jp

HP : <http://www.chiikinouken.or.jp>

編集後記

○花粉飛散と日本経済

北海道の花粉飛散の開始は四月と言われています。北海道に関わりはありませんが、春に飛散するスギ花粉の量は前年夏の気象条件に大きな影響を受けるそうです。冷夏→猛暑となった翌春には花粉の飛散量が急増する傾向があります。過去、冷夏→猛暑となったのは、一九九三年→一九九四年、二

〇〇三年→二〇〇四年と二回ありますが、一九九五年の春には過去最大の花粉飛散量となりました。二〇〇四夏の猛暑の影響で、スギ、ヒノキの雄花は全国的に多くなっています。不作であった昨年の数十倍、過去一〇年の平均の数倍の飛散が予測されます。

また、花粉の飛散量と春先の個人消費には関係があることが窺えるそうです。さらに、花粉大量飛散の影響として、外食を含む食料費、レジャー関連を含む教養娯楽

費、買い物に出かける頻度の影響を受ける被服履き物等を中心に家計の消費支出が減少することも予想されています。

今春の花粉大量飛散により花粉症患者が増加すれば、悪影響は更に拡大する可能性があります。今後の動向次第では、日本経済に、花粉の大量飛散が思わぬダメージを与える可能性も否定できない、とも言われています。春号が届いた時、花粉の影響が無いかもしれないと、花粉の影響が無くとも、は少なく終わった、と願うばかりです。

(川原和雄)